

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

No	事業名	概要・目的	総事業費	交付金充当額	事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
1	新型コロナウイルス感染症対策に係る各種配布事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため物品等の整備及びリスクの高い町民への物品の配布や関連機関等への貸出を実施します。	2,428,861	2,420,000	R2.5.1	R3.3.31	妊産婦、呼吸器疾患等のハイリスク者への使い捨てマスクの配布、全世帯へのアルコールジェルの配布、町内事業所へのエタノール消毒液もしくはアルコールジェルの配布、その他備蓄用のマスク、消毒液、非接触型体温計、フェイスシールド、対面用長袖ガウンを整備しました。
2	感染症対策健康支援事業	新型コロナウイルス感染拡大を防止するための3密に配慮した健康維持活動に対してポイントを配布し、ポイント数に応じて町内商店等で使用できる商品券と交換することで、町民の健康意識の向上と地域経済活性化を支援します。	5,255,635	5,250,000	R2.7.1	R3.3.31	貸出用の活動量計40台及び万歩計60台、個人のポイントを管理するためのライター・ライター5台及びポイントカード5,000枚等導入することで、町民の健康意識の向上と地域経済活性化の一助となりました。
3	地域消費拡大支援給付事業	感染拡大防止のための活動自粛等で影響を受けた家計や地域業者への支援を目的として、町民1人ごとに町内の商店等で使用できる商品券を配付し、町内消費の拡大を促進します。	45,291,639	44,000,000	R2.6.1	R3.3.24	町民1人あたり1万円分の商品券が配布され、地域産業の消費拡大と、経済活動の刺激の一助となりました。
4	地域消費拡大イベント事業	新型コロナウイルス感染症の影響による町内の経済活動及び産業活動が停滞している現状を踏まえ、町民を対象にした物販等を主とした産業まつりを実施します。	3,441,166	3,400,000	R2.6.1	R3.2.24	消費拡大イベント「よこはマルシェ」を開催し、町内外より1,714人の入込者数があり、また「熱血！商魂まつり」の各種イベントである大抽選会では3354回抽選が行われ、ダンボール迷路の参加者は74人、サイコロゲームの参加者は98人あり、地域産業の消費拡大と、経済活動の刺激の一助となりました。
5	臨時小売店等支援給付事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内の小売店等に対して、事業継続のため支援金を給付します。	6,400,000	6,400,000	R2.6.1	R2.10.8	申請に応じて1事業者あたり10万円を、合計64の事業者へ支給しました。
6	学生支援給付金給付事業	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減り、就学継続が危ぶまれる学生を対象として、就学継続支援のために給付金を給付します。	8,000,000	8,000,000	R2.7.1	R2.10.12	申請に応じて1人あたり10万円を、合計80人の専門学校、大学等の学生に支給しました。
7	農林水産業経営継続支援給付事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内の農林水産業経営者に対して、事業継続のため支援金の給付を行います。	18,466,183	18,460,000	R2.7.13	R2.10.8	申請に応じて1経営者あたり最大10万円を、合計187の経営者に支給しました。
8	横浜町学校施設ネットワーク環境セキュリティポリシー策定事業	GIGAスクール構想の実現に向け、当町の学校施設(小学校1校、中学校1校)の情報通信ネットワーク環境を利用するために必要となるセキュリティポリシーを策定します。	3,025,000	3,020,000	R2.8.27	R3.3.31	ネットワーク利用に伴うセキュリティポリシー策定することにより、児童生徒がネットワーク環境を安全に利用できるようになりました。
9	横浜町小・中学校情報機器等購入事業	全児童、生徒へ1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、個性に合わせた教育やコロナ禍における「新しい生活様式」へ対応可能にする、GIGAスクール構想の実現に向け、当町の学校施設(小学校1校、中学校1校)に必要な機器を整備します。	35,035,000	27,400,000	R2.9.7	R3.3.31	生徒・児童用タブレット端末248セット、教職員用タブレット端末40セット、貸出用ルータ33台、授業実施のためのWebカメラ及びスピーカー、遠隔授業の際に使用する大型提示装置・実物投影機・遠隔授業用ノートPC16セットを整備しました。
10	災害時避難所生活向上整備事業	災害時避難所における新型コロナウイルス感染症対策のため、必要な備品及び消耗品を整備します。	15,367,677	15,300,000	R2.10.22	R3.3.30	災害時多目的テント、翻訳機、消毒用品、段ボールベッド、非接触型体温計を整備することで、避難所を運営する上で重要な感染症対策と、中長期的な適切な避難所運営が可能となりました。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

No	事業名	概要・目的	総事業費	交付金充当額	事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
11	横浜町Web会議システム等構築事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「新しい生活様式」の確立に向け、インターネットを活用し、接触を回避できる「Web会議システム」を導入します。	4,445,496	4,400,000	R2.10.23	R3.3.30	オンライン会議用パソコン4台、動画配信及び編集用パソコン1台、町民用タブレット端末10台、ポケットWiFi3台、カメラ、マイク等撮影用品を導入し、Web会議を行える環境を整備しました。
12	キッチンカー(栄養指導車)による健康支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「新しい生活様式」の確立に向け、各地区のコミュニティや地域組織へ出向き、少人数向けの食事指導、健康相談等を行い、自粛中の孤立により健康に弊害が起こらないようバランスの良い食事の普及啓発を行います。	4,761,878	4,700,000	R2.10.14	R3.3.26	キッチンカーを導入したことにより、調理設備がなく、食育活動ができなかった地区へ出向くことができるようになり、また「新しい生活様式」に沿って少人数での食育活動を実施することができるようになりました。
13	新型コロナウイルス感染症対応移送者等整備事業	横浜町社会福祉協議会で実施されている「外出支援サービス事業」で使用する移送車両について、新型コロナウイルス感染症対策として福祉車両の消毒を実施しながら安定した運行を確保できるよう、1台追加で配備するための費用を補助します。	4,675,460	4,630,000	R2.10.14	R3.3.22	福祉車両1台を追加で配備することにより、「外出支援サービス事業」の安定した運行体制を確保できるようになりました。
14	特産物加工開発・生産強化事業	地元農産物等を利用した特産物加工商品の開発、生産量拡大を図るために新たな調理機器等の導入を行うとともに、新型コロナウイルス感染症を含め、衛生面を配慮するための設備を整えます。	26,598,000	26,590,000	R2.10.14	R3.2.13	調理器具及び消毒器具、空調器具を導入したことにより、衛生面に配慮しながら、特産物加工商品の開発及び生産量の拡大が可能となりました。
15	横浜町議会放映システム事業	新型コロナウイルス感染症対策として議会開催時、議場における「三密」を回避し、ソーシャルディスタンスを保つため、議場外からも傍聴を可能とする環境を整備します。	10,313,600	10,310,000	R2.11.13	R3.3.30	中継用カメラ、放映用テレビ、放送担当者用モニタを導入し、議場外からも傍聴を可能とする環境が整備され、議場における「三密」が回避されることにより、感染リスクが軽減されました。
16	子ども・子育て支援交付金事業	新型コロナウイルス感染症による臨時休校に対応するため、日中仕事などで保護者が家庭にいない児童等の日中の活動の場として放課後児童クラブを開設します。	179,482	60,000	R2.4.1	R2.5.1	新型コロナウイルス感染症による臨時休校中に放課後児童クラブを開設することで、日中仕事などで保護者が家庭にいない児童等を安心して預けられる場を設けられました。
17	町税キャッシュレス収納等導入事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「新しい生活様式」に対応するため、町県民税等の各種税金を非接触で支払う電子決済及びコンビニ納付を可能とするための体制を整備します。	18,403,000	18,400,000	R2.10.1	R3.3.31	非接触による電子決済及びコンビニ納付が可能になることで、納税者の感染リスクの軽減、また利便性が向上しました。
18	横浜町小・中学校LAN整備事業(R2年度)	GIGAスクール構想の実現に向け、当町の学校施設(小学校1校、中学校1校)の情報通信ネットワーク環境を整備します。	8,072,360	8,052,000	R2.8.27	R3.3.31	GIGAスクール構想の実現に向け必要となる情報通信ネットワーク環境を、当町の学校施設(小学校1校、中学校1校)の整備しました。
19	横浜中学校エアコン設置工事事業	生徒が安心して授業を受けることができる環境整備の一環としてエアコンを設置することにより、「新しい生活様式」に対応するため、生徒がマスクを着用することによる熱中症への対策や換気が可能になることで、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ります。	14,850,000	7,195,000	R2.6.16	R2.9.23	各学年の教室及び職員室にエアコンが設置されたことにより、熱中症への対策や換気が可能になりました。